

演習 B ワークシート A (回答例)

それぞれの事象はなぜ生じるのでしょうか。原因をさまざまな角度から予測してみましょう。(事象は研修担当者から指示があります。) その原因について、A「認知症」 B「老化」 C「誰にでも起こりうる状況、感覚や心理等」 D「環境(人的、物理的等)」から考え、記載する。そのほか、分類できない原因を考えた場合は「その他」に記入する。

事象	A 認知症に伴う原因では	B 老化に伴う原因では	C 誰にでも起こりうる状況、感覚、心理等では	D 環境(人的、物理的等)に伴う原因では	その他
例) トイレでない場所で排尿する	例) 尿意が知覚できない トイレの場所がわからない (見当識障害)	例) 尿意を感じると我慢ができない、前立腺肥大のため残尿が多くなる	例) 男性の立ちション みんながそこで排泄している	例) 山や砂漠でトイレがない トイレに思える場所がある	
1) 点滴を自分で抜いてしまう	点滴を行っていることを覚えていない(記憶障害) 点滴が挿入されていることに気づかない(認知障害) 点滴と自分の身体の関係把握できずに動く	したいことを優先し、点滴を意識せずに動いてしまった 点滴台やラインが見えなかった	寝ている間の寝返り 痒みがあって触っているうちに抜いてしまった 痛みを我慢ができなかった 抜いてよいと言われた 抜かないと危険と判断した (空気が入るといった等)	点滴ラインが短く動きに合わなかった 点滴スタンドが遠くにあり動きに合わせて動かせなかった	
2) 帰りたいと強く主張する	自分のいる場所、状況、時間を正しく把握できない(見当識障害)	頻尿 家で死にたいという望み	その場所に嫌な雰囲気を感じた(霊体験など) 言葉が通じない場所で独りぼっち 家や職場に緊急の用がある 共同のトイレや浴室は使いたくない	寒すぎる 暑すぎる 寝具が自分に合わない 食事が口に合わない トイレが汚い	
3) 食事を出されても食べ始めない	食物を食物と認識できない(物の認知障害) 食物を知覚できない(空間の認知障害) 毒が入っていると思いこんでいる	食事や箸が見えない(視力の低下) 食べてよいという声が聞こえない(聴力の低下) 食具をうまく使えない(手の筋力低下、巧緻性の低下)	満腹 食形態が好みでない(食べたくない食形態) 食器が汚れていた 虫が入っていた 手を怪我している ディナーの予定がある この後体重測定がある	食べてよいと言われない 食べてはいけなと言われた 周囲の人が食べていない 食事を出した人の態度が悪い 寝たままの姿勢では食べにくい食形態や配膳	